

# 学校再編だより



【北佐原小学区】

- 第2号 -

令和8年2月1日発行  
香取市教育委員会教育総務課  
☎ 0478-50-1220

## 第2回学校再編に係る地域検討会議を開催 - 活発な意見交換が行われました -

令和8年1月19日（月）午後6時30分から北佐原小学校2階会議室において、第2回北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議（委員14名出席）が開催されました。

会議では、各委員が地域住民から聞き取った意見等について報告があり、それを基に全体で意見交換が行われました。

北佐原小学校の学校再編については、様々な意見があった中で、現状の小規模化及び今後の年少人口の減少を鑑みて、やむを得ないとの声が多く聞かれました。以上のことから、次回の地域検討会議にて、北佐原小学校の学校再編の是非について、意向をまとめる予定です。



▲第2回地域検討会議の様子

### 地域検討会議の目的

地域検討会議は、保護者や地域の代表者で組織し、「学校再編の是非」について検討協議を行い、地域の意向をまとめる場です。令和7年3月に実施した保護者アンケート（未就学児童の保護者を含む）の結果を基に、意見の集約を図っています。なお、学校再編をすすめる結論となった場合は、対等統合か、あるいは編入統合かについての検討も行います。

### 学校統合をすすめる場合の方向性

現時点で結論は出ていませんが、保護者アンケートの結果や、これまでのPTAや地域検討会議の意見を尊重し、総合的にまとめると、学校再編をすすめる結論となった場合の方向性は次のとおり想定されます。なお、学校再編の是非については、保護者アンケート結果では61%の方から「必要、あるいは、どちらかといえば必要」という回答をいただいています。

- ・ 統合先と方式 香取市立佐原小学校への編入統合 ※1
- ・ 統合する時期 令和11年4月1日 ※2

※1 保護者アンケートでは、64%の方が佐原小学校(中学校区に対応する学校)と回答。

※2 保護者意見交換会(R7.11.29)において、統合する場合の時期について意見を求め、決を採ったところ、僅差で令和11年度が多かった。教育委員会としては、統合先の受け入れ環境整備や児童の交流事業等の必要性を考慮すると、最短で令和11年度ではないかという考え。

《会議での主な意見等については、裏面のとおりです》

## ●第2回 北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議で出た主な意見等

- 【意見1】 地域全体として、統合せざるを得ないという風潮が強い。
- 【意見2】 まだ統合は早いのではないかとの意見が一部あった。
- 【意見3】 地域住民の意見がバラバラであり、方向性やリーダーシップが不足していると感じた。学校再編の議論が迷走しないために、明確な道筋が必要だ。
- 【意見4】 地域の児童数が著しく減少しており、学校の維持が困難との意見が多い。
- 【意見5】 複式学級では、学校運営が困難との意見がある。
- 【意見6】 保護者から放課後児童クラブは地元で運営してほしいとの要望あり。運営場所としては、現在の施設を活用すべきとの意見。
- 【意見7】 子どものいる家庭やこれから入学する就学前児童の保護者の意見を重視すべきである。
- 【意見8】 地域の意見収集よりも、統合に向けての方向性を早急に示すべき。併せて、統合スケジュールの迅速な提示が必要。
- 【意見9】 親の選択が子どもの通学先に大きく影響する。隣接する茨城県稲敷市への通学事例があり、通学距離や通学方法（スクールバス等）が重要である。
- 【意見10】 統合先を佐原小学校に決めたほうが、子どもたちにとって良いとの保護者意見が多数。佐原小学校と統合することにより、早期から大勢の友人関係の形成が出来る良さがある。
- 【意見11】 もし北佐原小学校がなくなったら、若い人たちが地元に戻ってこなくなる可能性がある。
- 【意見12】 保護者の意見を重視しつつ、統合スケジュールを迅速化すべきだ。
- 【意見13】 保護者アンケート結果や住民の意見を基に、教育委員会から統合方針を示してほしいという意見が多く、市の提案で方向性を示し、話し合いを集約すべきである。

<参考> 北佐原小学校の児童数と将来推計

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
児童数	70	70	67	65	58	49	46	42

注) R8以降(赤字)は、住民基本台帳人口(令和7年5月1現在)を参考に推計

### 【次回日程】第3回 北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議

日時 令和8年3月2日(月) 午後7時から

場所 北佐原小学校 2階会議室

※ この会議は、傍聴することができます。